

第2回 金沢区柴町市有地活用サウンディング型市場調査 対話実施結果

1 名称

金沢区柴町市有地活用における対話

2 実施主体

金沢区区政推進課

3 実施経緯

平成27年8月6日 実施要領の公表

8月19日 説明会の開催

8月19日～9月4日 対話の実施

4 参加状況

7団体

<業種内訳>

- ・商業関係：5団体
- ・福祉関係：1団体
- ・住宅関係：1団体

5 実施結果

(1) 事業アイデア

ア 主たる用途

飲食・物販などの商業施設、福祉系施設、集合住宅の提案がありました。

イ 事業方式

定期借地、売却等の方式を確認できました。定期借地方式の場合について、期間は15年から39年を想定するとの回答を得ました。

ウ 既存施設

既存施設を活用する可能性は確認できませんでしたが、建材として活用する可能性については、確認できました。

(2) 地域課題への対応施設等の整備の可能性

ア 観光案内機能

規模や運営方法は様々ですが、設置の可能性を確認できました。

イ 地元農・水産物直売機能

規模や運営方法は様々ですが、設置の可能性を確認できました。一方で常設が難しいとの意見もありました。

ウ 大型バス乗降場

設置の可能性を確認できましたが、敷地と道路の関係から配置計画の検討が必要との意見がありました。

エ 地域ケアプラザ・コミュニティハウス

<市が床を買い取り又は賃借する場合>

すべての団体から設置の可能性を確認できました。

<市が建設する場合>

敷地分割が可能とする団体は1団体ありましたが、その他については、可能性は確認できませんでした。

(3) その他機能等の導入の可能性

ア 環境共生機能

省エネ機能の導入、LED化、電力使用量の見える化、太陽光パネルの設置、電気自動車のパワー・ステーションの設置など、様々な機能の設置の可能性を確認できました。

イ 各施設整備における木材の利用

内装などに利用する可能性を確認できました。

6 今後の予定

本市施策などを踏まえて、改めて庁内で検討を行ってまいりましたが、その結果、地域ケアプラザ・コミュニティハウスと福祉系施設を併設する案で検討を進めることとなりました。

具体的な事業内容については、方針が決まり次第公表します。